

地域活性化モデルケース選定プロセス概要

選定プロセス

①

事務局による形式的確認
(所定の様式による提案、募集要項に基づく応募主体)

②

ワーキングチーム・政策対応チームによる書面審査
(定量評価(5段階評価による点数づけ)と定性評価を行う。)

③

ワーキングチームによるヒアリング対象の決定
(区分Ⅱの提案についても審議しヒアリング対象とすることができる。また区分Ⅰについても審議しヒアリング対象外とすることができる。)

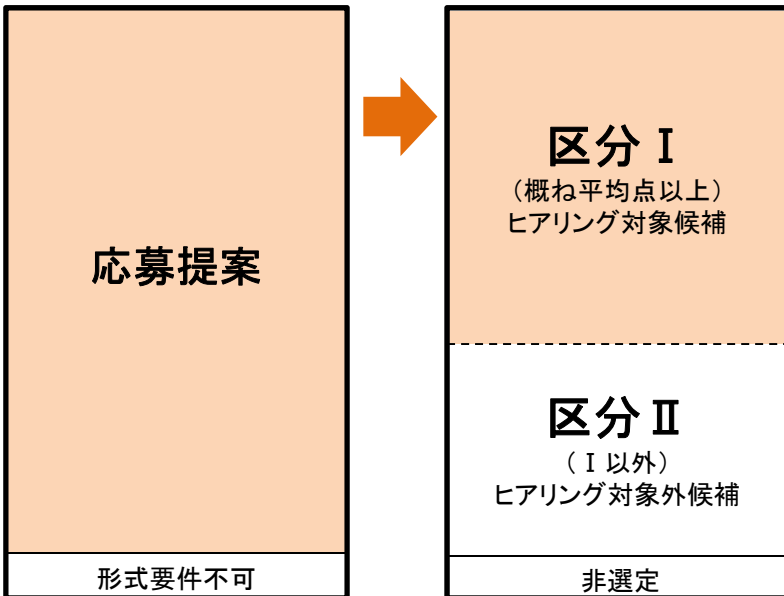
④

ワーキングチームによるヒアリング後、選定推薦案決定

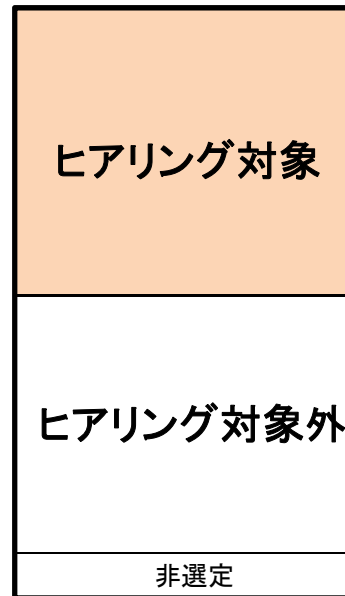
⑤

関係閣僚会議による決定

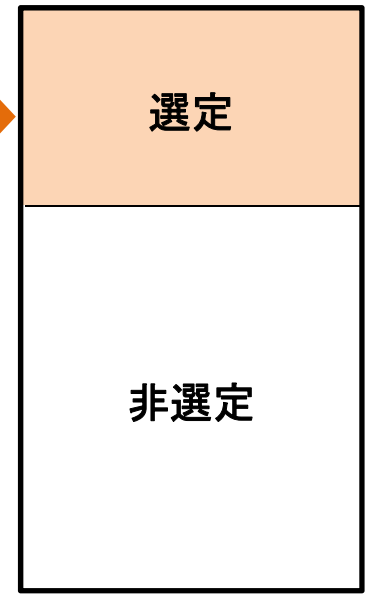
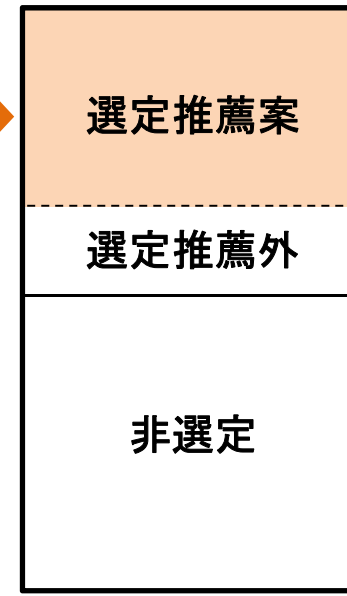
【1次評価】



【2次評価】



【3次評価】



地域活性化モデルケース書面審査(評価項目及び評価・採点方法)概要

1. 形式的確認

- 所定の様式による提案か
- 募集要領に基づく応募主体等

2. 書面審査

- ①～⑥の選定基準について定量的評価 ⇒ 5段階評価(A(4点に換算)～E(0点に換算))
- 定性評価

■ 取りまとめイメージ:書面審査結果一覧例

①超高齢化・人口減少社会における持続可能な都市・地域の形成

提案者	選定基準						合計	区分 (I～II)	定性的評価
	①地域活性化 に向けた目標	②モデル性	③地域適応 性	④実現可能 性	⑤持続性	⑥評価指標の 設定			
1 ○○	3	4	3	2	2	3	17		
2 △△	4	4	3	3	2	4	20		

②地域産業の成長・雇用の維持創出

提案者	選定基準						合計	区分 (I～II)	定性的評価
	①地方産業競 争力協議会の 成長戦略との 整合性	②モデル性	③地域適応 性	④実現可能 性	⑤持続性	⑥評価指標の 設定			
1 ××	4	4	3	2	3	3	19		
2 ●●	4	3	3	2	2	4	18		

※ 合計点は、各評価者の5つの項目全体の合計値を計算し、その点数を、評価者数で単純平均(小数点第1位を四捨五入)して算定する。そのため、各評価者の5つの項目ごとの点数を、評価者数で単純平均(小数点第1位を四捨五入)した値の合計とは異なる場合がある。

地域活性化モデルケース～超高齢化・人口減少社会における持続可能な都市・地域の形成～
選定基準の運用方針

1 定量的評価

以下の①～⑤の選定基準について、定量的評価（A（4点に換算）～E（0点に換算））の判定を行う。

【選定基準】

① 地域活性化に向けた目標

地域活性化モデルケース(都市・地域)により、持続可能な都市・地域の形成の達成に向けた施策を展開し、地域の活性化を目指しているか。

A：地域活性化モデルケース(都市・地域)により、持続可能な都市・地域の形成の達成に向けた施策を展開し、地域の活性化を目指した提案であると極めて十分に認められる。

B：地域活性化モデルケース(都市・地域)により、持続可能な都市・地域の形成の達成に向けた施策を展開し、地域の活性化を目指した提案であると十分に認められる。

C：地域活性化モデルケース(都市・地域)により、持続可能な都市・地域の形成の達成に向けた施策を展開し、地域の活性化を目指した提案であると認められる。

D：地域活性化モデルケース(都市・地域)により、持続可能な都市・地域の形成の達成に向けた施策を展開し、地域の活性化を目指した提案であると認めるには不十分である。

E：地域活性化モデルケース(都市・地域)により、持続可能な都市・地域の形成の達成に向けた施策を展開し、地域の活性化を目指した提案であると認められない。

② モデル性

持続可能な都市・地域の形成の達成に向けて、都市・地域全体の新たな取組のシステムづくりや暮らしのあり方の改善に係る統合アプローチで取り組む先進的な取組であるか。或いは、模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他都市・地域への、取組の波及効果が見込まれるか。

A：持続可能な都市・地域の形成の達成に向けて、都市・地域全体の新たな取組のシステムづくりや暮らしのあり方の改善に係る統合アプローチで取り組む先進的な取組であると極めて十分に認められる。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他都市・地域への、極めて高い波及効果が見込まれる。

- B：持続可能な都市・地域の形成の達成に向けて、都市・地域全体の新たな取組のシステムづくりや暮らしのあり方の改善に係る統合アプローチで取り組む先進的な取組であると十分に認められる。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他都市・地域への、高い波及効果が見込まれる。
- C：持続可能な都市・地域の形成の達成に向けて、都市・地域全体の新たな取組のシステムづくりや暮らしのあり方の改善に係る統合アプローチで取り組む先進的な取組であると認められる。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他都市・地域への、波及効果が見込まれる。
- D：持続可能な都市・地域の形成の達成に向けて、都市・地域全体の新たな取組のシステムづくりや暮らしのあり方の改善に係る統合アプローチで取り組む先進的な取組であると認めるには不十分である。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他都市・地域への、波及効果がほとんど見込まれない。
- E：持続可能な都市・地域の形成の達成に向けて、都市・地域全体の新たな取組のシステムづくりや暮らしのあり方の改善に係る統合アプローチで取り組む先進的な取組であると認められない。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他都市・地域への、波及効果は見込まれない。

③ 地域適応性

都市・地域の条件、特色を的確に把握し、その特色を活かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であるか。

- A：都市・地域の条件、特色を的確に把握し、その特色を活かした独自のアイデアが極めて十分に盛り込まれた取組である。
- B：都市・地域の条件、特色を的確に把握し、その特色を活かした独自のアイデアが十分に盛り込まれた取組である。
- C：都市・地域の条件、特色を的確に把握し、その特色を活かした独自のアイデアが盛り込まれた取組である。
- D：都市・地域の条件、特色を的確に把握し、その特色を活かした独自のアイデアが盛り込まれた取組と言うには不十分である。
- E：都市・地域の条件、特色を的確に把握し、その特色を活かした独自のアイデアが盛り込まれた取組とは言えない。

④ 実現可能性

地元住民、地元企業、大学、NPO等の幅広い関係者の参加と協働を得ると共に、自治体において部署間を横断する全庁的協力体制が構築され、取組をけん引する人材育成が図られるなど取組の確実で円滑な実施が見込まれるか。目標の達成に向けた合理性のある取組が示された実現可能性の高い計画であるか。

- A：地元住民、地元企業、大学、NPO等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、自治体において部署間を横断する全庁的協力体制が構築され、取組を牽引する人材育成が図られるなど取組の確実で円滑な実施の見込みが極めて高いと考えられる。目標の達成に向けた合理性のある取組と適切な排出削減の見込みが示された極めて実現可能性の高い計画である。
- B：地元住民、地元企業、大学、NPO等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、自治体において部署間を横断する全庁的協力体制が構築され、取組を牽引する人材育成が図られるなど取組の確実で円滑な実施の見込みが高いと考えられる。目標の達成に向けた合理性のある取組と適切な排出削減の見込みが示された十分に実現可能性の高い計画である。
- C：地元住民、地元企業、大学、NPO等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、自治体において部署間を横断する全庁的協力体制が構築され、取組を牽引する人材育成が図られるなど取組の確実で円滑な実施の見込みがあると考えられる。目標の達成に向けた合理性のある取組と適切な排出削減の見込みが示された実現可能性の高い計画である。
- D：地元住民、地元企業、大学、NPO等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、自治体において部署間を横断する全庁的協力体制が構築され、取組を牽引する人材育成が図られるなど取組の確実で円滑な実施の見込みが低いと考えられる。目標の達成に向けた合理性のある取組と適切な排出削減の見込みが示された実現可能性の高い計画と言うには不十分である。
- E：地元住民、地元企業、大学、NPO等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、自治体において部署間を横断する全庁的協力体制が構築され、取組を牽引する人材育成が図られるなど取組の確実で円滑な実施の見込みがないと考えられる。目標の達成に向けた合理性のある取組と適切な排出削減の見込みが示された実現可能性のない計画である。

⑤ 持続性

新たなまちづくりの概念が提示され、関係者の持続的な参加、取組の波及、次世代の人づくりを促す方策が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できるか。

- A：新たなまちづくりの概念が提示され、関係者の持続的な参加、取組の波及、次世代の人づくりを促す方策が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が極めて強く期待できる。
- B：新たなまちづくりの概念が提示され、関係者の持続的な参加、取組の波及、次世代の人づくりを促す方策が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が強く期待できる。
- C：新たなまちづくりの概念が提示され、関係者の持続的な参加、取組の波及、

次世代の人づくりを促す方策が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できる。

D：新たなまちづくりの概念が提示され、関係者の持続的な参加、取組の波及、次世代の人づくりを促す方策が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できると言うには不十分である。

E：新たなまちづくりの概念が提示され、関係者の持続的な参加、取組の波及、次世代の人づくりを促す方策が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できるとは言えない。

⑥ 評価指標等の設定

地域活性化モデルケース(都市・地域)の取組においては、プロジェクトマネジメントが重要であり、PDCA サイクルを着実に回す必要がある。

従って、地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況を的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が設定されているか。

A：地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が極めて適切に設定されている。

B：地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が適切に設定されている。

C：地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が設定されている。

D：地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が設定されているが不適切である。

E：地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が設定されていない。

2 定性的評価

募集要領の趣旨・目的等に照らして特筆すべきことがあれば、定性的評価を行う。

地域活性化モデルケース～超高齢化・人口減少社会における持続可能な都市・地域の形成～
選定評価表(評価項目と評価・採点方法)

1. 事務局

評価項目	評価・採点方法	評価・採点の視点
応募提案に求められるもの		
1) 所定の様式による提案である	○×	・所定の様式による提案であるか
2) 応募主体が募集要領に基づくものである	○×	・応募主体が、募集要領Ⅲ「応募主体」に基づくものであるか

2. 政策対応チーム及びワーキングチーム

評価項目	評価・採点方法	評価・採点の視点
選定基準(提案の視点)		
①地域活性化に向けた目標	A～E	地域活性化モデルケース(都市・地域)により、持続可能な都市・地域の形成の達成に向けた施策を展開し、地域の活性化を目指しているか。
②モデル性	A～E	持続可能な都市・地域の形成の達成に向けて、都市・地域全体の新たな取組のシステムづくりや暮らしのあり方の改善に係る統合アプローチで取り組む先進的な取組であるか。或いは、模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他都市・地域への、取組の波及効果が見込まれるか。
③地域適応性	A～E	都市・地域の条件、特色を的確に把握し、その特色を活かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であるか。
④実現可能性	A～E	地元住民、地元企業、大学、NPO等の幅広い関係者の参加と協働を得ると共に、自治体において部署間を横断する全庁的協力体制が構築され、取組をけん引する人材育成が図られるなど取組の確実で円滑な実施が見込まれるか。目標の達成に向けた合理性のある取組と適切な排出削減の見込みが示された実現可能性の高い計画であるか。
⑤持続性	A～E	新たなまちづくりの概念が提示され、関係者の持続的な参加、取組の波及、次世代の人づくりを促す方策が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できるか。
⑥評価指標等の設定	A～E	地域活性化モデルケース(都市・地域)の取組においては、プロジェクトマネジメントが重要であり、PDCAサイクルを着実に回す必要がある。従って、地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況を的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が適切に設定されているか。
①～⑤の総合的な評価	上記評価項目の総得点 A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 E:0点	-
定性的評価	募集要領の趣旨・目的等に照らして特筆すべきことがあるか	

地域活性化モデルケース～地域産業の成長・雇用の維持創出～
選定基準の運用方針

1 定量的評価

以下の①～⑤の選定基準について、定量的評価（A（4点に換算）～E（0点に換算））の判定を行う。

【選定基準】

① 地域産業競争力協議会の成長戦略との整合性

【地元地域資源活用型及び広域地域資源活用型】

地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、各地域における特色のある資源や資金等を十分に活用したものであるか。

- A：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、各地域における特色のある資源や資金等を十分に活用した提案であると極めて十分に認められる。
- B：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、各地域における特色のある資源や資金等を十分に活用した提案であると十分に認められる。
- C：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、各地域における特色のある資源や資金等を十分に活用した提案であると認められる。
- D：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、各地域における特色のある資源や資金等を十分に活用した提案であると認めるには不十分である。
- E：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、各地域における特色のある資源や資金等を十分に活用した提案であると認められない。

【産業集積活用型】

地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、地域の強みを活かした競争力のある新産業・新事業を創出する地域ブロック毎の戦略産業の方向性に合致するものであるか。

- A：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、地域の強みを活かした競争力のある新産業・新事業を創出する地域ブロック毎の戦略産業の方向性に合致した提案であると極めて十分に認められる。
- B：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、地域の強みを活かした競争力のある新産業・新事業を創出する地

域ブロック毎の戦略産業の方向性に合致した提案であると十分に認められる。

C：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、地域の強みを活かした競争力のある新産業・新事業を創出する地域ブロック毎の戦略産業の方向性に合致した提案であると認められる。

D：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、地域の強みを活かした競争力のある新産業・新事業を創出する地域ブロック毎の戦略産業の方向性に合致した提案であると認めるには不十分である。

E：地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、地域の強みを活かした競争力のある新産業・新事業を創出する地域ブロック毎の戦略産業の方向性に合致した提案であるとは認められない。

② モデル性

持続可能な地域経済産業の活性化に向けて、地域に眠る地域資源の掘り起こしや、地域の多様な主体間のネットワークを形成し、地域の産業集積の高度化や産業構造の転換を目指すなど、先進的な取組であるか。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他の地域への、取組の波及効果が見込まれるか。

A：持続可能な地域経済産業の活性化に向けて、地域に眠る地域資源の掘り起こしや、地域の多様な主体間のネットワークを形成し、地域の産業集積の高度化や産業構造の転換を目指すなど、先進的な取組であると極めて十分に認められる。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他の地域への、極めて高い波及効果が見込まれる。

B：持続可能な地域経済産業の活性化に向けて、地域に眠る地域資源の掘り起こしや、地域の多様な主体間のネットワークを形成し、地域の産業集積の高度化や産業構造の転換を目指すなど、先進的な取組であると十分に認められる。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他の地域への、高い波及効果が見込まれる。

C：持続可能な地域経済産業の活性化に向けて、地域に眠る地域資源の掘り起こしや、地域の多様な主体間のネットワークを形成し、地域の産業集積の高度化や産業構造の転換を目指すなど、先進的な取組であると認められる。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他の地域への、波及効果が見込まれる。

D：持続可能な地域経済産業の活性化に向けて、地域に眠る地域資源の掘り起こしや、地域の多様な主体間のネットワークを形成し、地域の産業集積の高度化や産業構造の転換を目指すなど、先進的な取組であると認めるには不十分である。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他の地域への、波及効果がほとんど見込まれない。

E：持続可能な地域経済産業の活性化に向けて、地域に眠る地域資源の掘り起こしや、地域の多様な主体間のネットワークを形成し、地域の産業集積の高度化や産業構造の転換を目指すなど、先進的な取組であると認められない。或いは、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他の地域への、波及効果は見込まれない。

③ 地域適応性

各地域の産業構造の強み・弱みや地域毎の特色を的確に把握し、その強みや特色を生かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であるか。また、地域全体に効果が波及するものであるか。

A：各地域の産業構造の強み・弱みや地域毎の特色を的確に把握し、その強みや特色を生かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であると極めて十分に認められる。また、地域全体に極めて高い波及効果が見込まれる。

B：各地域の産業構造の強み・弱みや地域毎の特色を的確に把握し、その強みや特色を生かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であると十分に認められる。また、地域全体に高い波及効果が見込まれる。

C：各地域の産業構造の強み・弱みや地域毎の特色を的確に把握し、その強みや特色を生かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であると認められる。また、地域全体に波及効果が見込まれる。

D：各地域の産業構造の強み・弱みや地域毎の特色を的確に把握し、その強みや特色を生かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であると認めるには不十分である。また、地域全体に波及効果がほとんど見込まれない。

E：各地域の産業構造の強み・弱みや地域毎の特色を的確に把握し、その強みや特色を生かした独自のアイデアが盛り込まれた取組であると認められない。また、地域全体に波及効果が見込まれない。

④ 実現可能性

自らリスクを取って主体的に事業化を進める地域の中小企業や中核企業（産業集積活用型では必須）、大学や公設試験場などの研究機関や産業支援機関、自治体や金融機関等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、事業化を前提とした資金調達の見込みや実施の計画・事業の取組を統括する強力なマネジメント機能を有する体制が確立しているなど、円滑な実施が見込まれるか。取組を通じて実現される地域産業の成長等の目標の達成に向けた合理性のある取り組みが示された実現可能性の高い計画であるか。

A：自らリスクを取って主体的に事業化を進める地域の中小企業や中核企業（産業集積活用型では必須）、大学や公設試験場などの研究機関や産業支援機関、自治体や金融機関等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、事業化を

前提とした資金調達の見込みや実施の計画・事業の取組を統括する強力なマネジメント機能を有する体制が確立しているなど、円滑な実施が極めて十分に見込まれる。取組を通じて実現される地域産業の成長等の目標の達成に向けた合理性のある取り組みが示された実現可能性の高い計画であると極めて十二分に認められる。

B：自らリスクを取って主体的に事業化を進める地域の中小企業や中核企業（産業集積活用型では必須）、大学や公設試験場などの研究機関や産業支援機関、自治体や金融機関等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、事業化を前提とした資金調達の見込みや実施の計画・事業の取組を統括する強力なマネジメント機能を有する体制が確立しているなど、円滑な実施が十分に見込まれる。取組を通じて実現される地域産業の成長等の目標の達成に向けた合理性のある取り組みが示された実現可能性の高い計画であると十二分に認められる。

C：自らリスクを取って主体的に事業化を進める地域の中小企業や中核企業（産業集積活用型では必須）、大学や公設試験場などの研究機関や産業支援機関、自治体や金融機関等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、事業化を前提とした資金調達の見込みや実施の計画・事業の取組を統括する強力なマネジメント機能を有する体制が確立しているなど、円滑な実施が見込まれる。取組を通じて実現される地域産業の成長等の目標の達成に向けた合理性のある取り組みが示された実現可能性の高い計画であると認められる。

D：自らリスクを取って主体的に事業化を進める地域の中小企業や中核企業（産業集積活用型では必須）、大学や公設試験場などの研究機関や産業支援機関、自治体や金融機関等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、事業化を前提とした資金調達の見込みや実施の計画・事業の取組を統括する強力なマネジメント機能を有する体制が確立しているなど、円滑な実施がほとんど見込まれない。取組を通じて実現される地域産業の成長等の目標の達成に向けた合理性のある取り組みが示された実現可能性の高い計画であると認めるには不十分である。

E：自らリスクを取って主体的に事業化を進める地域の中小企業や中核企業（産業集積活用型では必須）、大学や公設試験場などの研究機関や産業支援機関、自治体や金融機関等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、事業化を前提とした資金調達の見込みや実施の計画・事業の取組を統括する強力なマネジメント機能を有する体制が確立しているなど、円滑な実施が見込まれない。取組を通じて実現される地域産業の成長等の目標の達成に向けた合理性のある取り組みが示された実現可能性の高い計画であると認められない。

⑤ 持続性

中長期的には政府の支援に頼らずにビジネスとして民間企業を中心に持続可能な事業活動（事業化・自立化）にしていくための道筋、戦略が示され、取組の評価・

改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できるか。

- A：中長期的には政府の支援に頼らずにビジネスとして民間企業を中心に持続可能な事業活動（事業化・自立化）にしていくための道筋、戦略が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が極めて強く期待できる。
- B：中長期的には政府の支援に頼らずにビジネスとして民間企業を中心に持続可能な事業活動（事業化・自立化）にしていくための道筋、戦略が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が強く期待できる。
- C：中長期的には政府の支援に頼らずにビジネスとして民間企業を中心に持続可能な事業活動（事業化・自立化）にしていくための道筋、戦略が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できる。
- D：中長期的には政府の支援に頼らずにビジネスとして民間企業を中心に持続可能な事業活動（事業化・自立化）にしていくための道筋、戦略が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できると言うには不十分である。
- E：中長期的には政府の支援に頼らずにビジネスとして民間企業を中心に持続可能な事業活動（事業化・自立化）にしていくための道筋、戦略が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できるとは言えない。

⑥ 評価指標等の設定

地域活性化モデルケース(地域産業)の取組においては、プロジェクトマネジメントが重要であり、PDCA サイクルを着実に回す必要がある。

従って、地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況を的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が設定されているか。

- A：地域の将来像（ビジョン）に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が極めて適切に設定されている。
- B：地域の将来像（ビジョン）に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が適切に設定されている。
- C：地域の将来像（ビジョン）に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が設定されている。
- D：地域の将来像（ビジョン）に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が設定されているが不適切である。
- E：地域の将来像（ビジョン）に向けた取組の進捗状況が的確に把握できるよう、

取組内容に応じた評価指標等が設定されていない。

2 定性的評価

募集要領の趣旨・目的等に照らして特筆すべきことがあれば、定性的評価を行う。

地域活性化モデルケース～地域産業の成長・雇用の維持創出～
選定評価表(評価項目と評価・採点方法)

1. 事務局

評価項目	評価・採点方法	評価・採点の視点
応募提案に求められるもの		
1) 所定の様式による提案である	○×	・所定の様式による提案であるか
2) 応募主体が募集要領に基づくものである	○×	・応募主体が、募集要領Ⅲ「応募主体」に基づくものであるか

2. 政策対応チーム及びワーキングチーム

評価項目	評価・採点方法	評価・採点の視点
選定基準(提案の視点)		
① 地方産業競争力協議会の成長戦略との整合性	A～E	地方産業競争力協議会の議論を踏まえ、地域の将来の成長ビジョンの考え方に合致し、 ①各地域における特色のある資源や資金等を十分に活用したものであるか。(地元地域資源活用型及び広域地域資源活用型) ②地域の強みを活かした競争力のある新産業・新事業を創出する地域ブロック毎の戦略産業の方向性に合致するものであるか。(産業集積活用型)
② モデル性	A～E	持続可能な地域経済産業の活性化に向けて、地域に眠る地域資源の掘り起こしや、地域の多様な主体間のネットワークを形成し、地域の産業集積の高度化や産業構造の転換を目指すなど、先進的な取組であるか。また、その取組を模範・参考として同様の条件や課題を抱えた他の地域への、取組の波及効果が見込まれるか。
③ 地域適応性	A～E	各地域の産業構造の強み・弱みや地域毎の特色を的確に把握し、その強みや特色を生かし、他地域との差別化が図られ、独自のアイデアが盛り込まれた取組であるか。また、地域全体に効果が波及するものであるか。
④ 実現可能性	A～E	自らリスクを取って主体的に事業化を進める地域の中小企業や中核企業(産業集積活用型では必須)、大学や公設試験場などの研究機関や産業支援機関、自治体や金融機関等の幅広い関係者の参加と協働を得るとともに、事業化を前提とした資金調達の見込みや実施の計画・事業の取組を統括する強力なマネージメント機能を有する体制が確立しているなど、円滑な実施が見込まれるか。取組を通じて実現される地域産業の成長等の目標の達成に向けた合理性のある取り組みが示された実現可能性の高い計画であるか。
⑤ 持続性	A～E	中長期的には政府の支援に頼らずにビジネスとして民間企業を中心に持続可能な事業活動(事業化・自立化)にしていくための道筋、戦略が示され、取組の評価・改善の仕組みが組み込まれており、取組の持続的な展開が期待できるか。
⑥ 評価指標等の設定	A～E	地域活性化モデルケース(地域産業)の取組においては、プロジェクトマネジメントが重要であり、PDCAサイクルを着実に回す必要がある。従って、地域の将来像(ビジョン)に向けた取組の進捗状況を的確に把握できるよう、取組内容に応じた評価指標等が適切に設定されているか。
①～⑤の総合的な評価	上記評価項目の総得点 A: 4点 B: 3点 C: 2点 D: 1点 E: 0点	-
定性的評価	募集要領の趣旨・目的等に照らして特筆すべきことがあるか	